



2023-2024 週報

西脇ロータリークラブ 2680 地区



No.18 第2796回 令和5年11月20日

今週の歌:手に手つないで

プログラム

「会員卓話」 小澤國秀会員
「卓話」 ロータリー情報委員会

会長 高瀬幸一郎 幹事 東口喜樹
例会日 月曜日 12:30-13:30
例会場 西脇ロイヤルホテル 2F Tel:0795(23)2000
事務局 西脇商工会議所内
〒677-0015 西脇市西脇 990
Tel:0795(22)3901 Fax:0795(22)8739

RIテーマ : CREATE HOPE in the WORLD ~世界に希望を生み出そう

11月13日(月) 第2795例会記録

◎出席・・・会員数 47 名 出席 37 名 MU 6 名
(出席免除会員 10 名・休会 3 名)

会長の時間

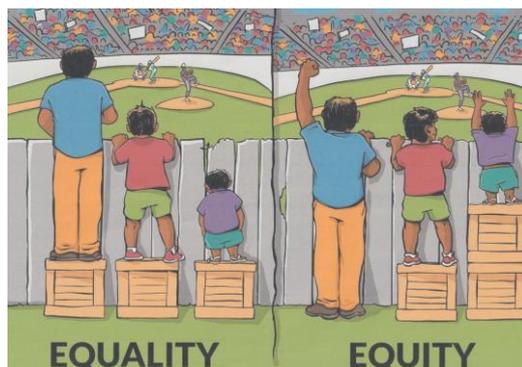
高瀬幸一郎会長



今年の 2680 地区の戦略計画に、「多様な人々の参加を促し、DEI (多様性・公平さ・インクルージョン) を実現する」ということが、掲げられております。ダイバーシティとは、国籍、年齢、性別、宗教、ライフスタイルなどにかかわらず多様性のある人材を積極的に採用することで、組織としての競争力を上げていくことを意味しています。マイノリティの人やハンディキャップのある人などに対して、差別のない対応を実現するために始まった取り組みで、ダイバーシティの考え方に基づいた採用や取り組みをアピールする組織、企業も増えています。インクルージョンとは組織、企業において、所属している人のすべてを組織、企業が包み込むように受け入れており、それぞれの能力や経験、考え方が認められて、その力を活かすことのできる状態をさしています。インクルージョンが達成されている環境では、組織が多種多様な考え方や価値観を享受しており、個々の違いや個性を強みとして活用できることで、個人と組織の双方が最大のパフォーマンスを発揮できるようになっています。

- ・ダイバーシティは「組織の中で多様な人材が存在していることを認める環境」、すなわち組織にいろいろな人がいること自体に焦点が当たっている。思いがけない属性 (どんな奴) もダイバーシティ。
- ・インクルージョンは「組織に所属している人が制約なく働ける環境」、すなわち組織の中で、個人がどう活躍できるかに焦点があたっている。すなわち適材適所。
- ・DEI の E は Equity (公平性) です。Equality (平等性) とは異なります。

挿入イラストで比べて頂いたら、違いがイメージできると思います。そこにはどういった配慮が公平なのかのかわかりにくい、本人の努力をどこまで求めるのか、という難しさが存在します。



DEI の難しさとして、

- ・理解が困難：新しい概念や自分の常識外の知識が必要
 - ・実行が困難：経験が乏しい
 - ・「不愉快な思いをさせてはいけない」という強迫感
 - ・「触れないほうが楽」になってしまう
- 解決策は「気楽にやる」こと。まずは感謝、賞賛のコミュニケーションを増やす文化づくりか

幹事報告

(来 信)

・ガバナー事務所より、社会奉仕セミナーのご案内
 12月2日(土) 13:30~16:00
 於：神戸ポートピアホテル

(報 告)

・新会員として、藤原由樹氏 (㈱匠工房/代表取締役) の入会が理事会で承認されました。職業分類は情報提供サービス。推薦者は高瀬(英)会員と小澤会員です。異議のある方は1週間以内に書面で申し出てください。

ニコニコ箱

井上会員 先週の欠席をお詫びして。
 数原会員 井上会員、久しぶりの前列へようこそ。
 足立会員 欠席をお詫びして。

※本日のニコニコ 5,000円
 誕生日・結婚記念日祝 5,000円
 ※本年度累計額 (11/13 現在) 715,000円

🌸 本日の花：スプレーマム・ルスカスグリーン

プログラム

「ロータリー財団月間卓話」
 ロータリー財団委員会
 資金推進小委員会
 金田 実委員



目標の寄付金未達の実状

毎年度、ガバナーより寄付金の目標額が提示されています。安行ガバナー年度では一人当たり寄付金160ドル、ポリオ基金で一人当たり40ドルという数字です。これまでは目標額に対してほとんどが未達となっており、財団の寄付額が非常に厳しい状況が続いております。

地区として財団への寄付と、それに伴うアツの重点分野の将来を危惧する状況
 何か士気を高める方策が今最も必要です。

2023-24年度に利用可能なDDF

2020-21年度に寄付されたものが、2023-24年度に下記のように配分されます。

- 47.5% DDF (約16,570ドル)
- 5% R財団の管理運営費
- 47.5% WF

この配分方法を「シェアシステム」といいます。

寄付目標金額5億ドル

【昨年度は、寄付者の団体の数が増え、世界で4億3400万ドル(約600億円)が集まり、4億1000万ドルの年次目標を上回る事ができました。経済的、社会的、環境的に多くの困難がある中、クラブや地域社会での奉仕を継続している会員の皆様により深く感謝いたします。過去5年間で、ロータリー財団は、約1億人の人々を支援してきました。資金さえあれば、もっと多くの救済されたい人々を救済し、支えてあげることができます。今後5年間で、この2億の人々を救うことができます。私たちが必要としている人々を助けるためには資金が必要で、だからこそ、今年度、ロータリー財団管理委員会は、これまでの最高額となる5億ドル(約700億円)という野心的な寄付目標を設定しました。

ポリオとは

【ポリオ(急性灰白髄炎)：ウイルス感染によって発症する病気】

感染は真空中に漂遊したウイルスが口から体内に侵入した時、ウイルスが神経細胞に入り、身体まひを引き起こし、時には死に至る。5歳以下の子供に感染する確率が高く、「小児まひ」とも呼ばれる。

ワクチンで予防可能 治療法は現在なし

他の多くの疾病とは異なり、**ポリオは根絶が可能！！**

ポリオ根絶可能な5つの理由

ポリオウイルスの特徴

- 予防接種でウイルス感染を防ぐことができる
- 感染期間は非持続的
- 感染経路は感染者とその排泄物のみ
- 自然界で生き残るには限界がある
- 人が唯一の宿主

ポリオプラスとは

～ 1985 ～
 大々的な予防接種を通じてポリオの根絶をめざす「ポリオプラス」を開始

プラスとは当初ポリオと共に根絶しようとした下記感染症
 ①はしか②結核③シジフィア④百日咳⑤破傷風

→これまでに17億米ドル以上を投入し、122カ国の25億人以上の子供に予防接種を行う

→アドボカシー(政府への働きかけ)を通じて、ドナー国政府から72億ドル以上の資金確保に貢献

ポリオを根絶するために

今後3年間で毎年5,000万ドルを集めるファンドレイジングを行っています。盖茨財団とのパートナーシップにより、ロータリーからの5,000万ドルの寄付に対して、2億の額の寄付が盖茨財団から上乗せされます

根絶活動の運営、医療従事者の確保、研究所の設備、保健従事者と親への教育

資金の確保においては、政府や企業、個人が大きな役割を果たします

課題 ～残る0.1%のポリオとの闘い～

予防接種活動妨げの4大要因

- 途窮地
- 十分な公共インフラ
- 紛争
- 文化的障壁

ポリオを根絶するまでは、世界中の国が再発生のリスクにさらされ毎年20万もの新規患者が発生する可能性があります

ポリオ根絶がもたらす恩恵

ロータリー国際ポリオプラス委員会委員長マイク・マクガバン氏は、19億1988万人以上の人々が歩いていてと語った。

ポリオフリーになれば

- ポリオによって一生苦しむ子供がいなくなる
- 低所得国で40億ドルから50億ドルの経費削減
- ポリオプラスで撲滅したインフラを他の疾病対策にまわせる (Covid-19など新しい感染症)

今後のプログラム

11月27日(月) 担当：ロータリー情報委員会 12月4日(月) 「卓話」高瀬(英)会員、西山会員
 12月11日(月) 「卓話」来住(周)会員 他 12月18日(月) クリスマス例会 18:30～
 12月25日(月) 「卓話」中田会員、竹内会員 1月1日(月) 休会

高瀬会長のテーマ：職業人としてプライドを持とう！